## 「"斜界学"のススメ

民博連続講座

## ―常識をくつがえす技術―」

21世紀のいま、多文化共存の世界を築いていくためには、これまでの常識をくつがえし、世界を縦、横、特に斜めから視点から見つめ直し、新しい視野を切り拓かなくてなりません。国立民族学博物館の研究者のみなさんのさまざまな問いかけ、取り組みを通して、日本と世界、あるいは人類としての課題を語り合いませんか。

## 第1回 常識の非常識 ―日本語とマヤ語



(マヤのティカル遺跡)

古代マヤ文明時代から使われているマヤ語は日本語とまったく逆の鏡像のような言語です。鏡に映った日本語や日本文明を考えます。



(キリグア石碑の一部)



講師 八杉 佳穂さん

国立民族学博物館教授

会場 キャンパスポート大阪 (大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル4階)

申し込みは、電話、FAX、Eメールで 大阪自由大学事務局へ 定員 40人(先着順) 参加費 1000円

- 大阪日田八子事坊同へ 電話06-6386-4575 FAX06-6386-1893 (資料代など)

E-mail:kansaiforum@gmail.com

URL: http://kansai.main.jp

大阪自由大学 主催